

ベネッセ子会社の ベルリッツ・ジャパンよ！ キャンベル先生の解雇を撤回しろ！

ベネッセコーポレーションは「ピンクリボン活動に賛同しています」。しかし、実際に乳がんになった女性講師キャンベル先生は、ベネッセ子会社のベルリッツジャパンで解雇されてしまいました。今年6月3日に母国で治療に励むキャンベル先生のもとに、「解雇の1ヶ月前の通知」が突然届きました。

キャンベル先生は、主治医に「化学療法の副作用が完全に治るまでは休職した方がいい」と勧められ、会社に既に認められた2010年3月31日までの一年間の休職期間後、4ヶ月間の延期を申請しました。しかし、ベルリッツジャパンは、上記の医師の説明にもかかわらず、すげなく休職延期申請を却下したのです。

13年間ベルリッツで評価の良い講師として勤務し、しかも長年労働組合活動をしてきたキャンベル先生を、あろうことか乳がん闘病中に解雇するのは、「女性労働者に優しい」ことで知られているベネッセ・グループであっていいのでしょうか？

(http://www.benesse-kp.or.jp/kikanshi/kikanshi_pdf/kenpo_vol022.pdf)

ぜひ、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

ベネッセ — ダイレクトメール発送係 専用電話 フリーコール 0120-925-400
全国一般労働組合東京南部ベルリッツ・ゼネラル・ユニオン東京 - begunto1@yahoo.com